

C-78 成人男女の下半身のプロポーションについて

青山学院女短大 磯谷藤枝 新潟大教育 清水薫 東京家政学院大の原田 隆子

目的 衣服の型紙を設計する目的をもつて、成人男女の身体計測を行ない、今回は下半身のプロポーションの性差について考察を行なった。

方法 被検者は京浜地区に在住する成人男女合計400名である。研究項目は下衣丈・股上・股下・「W.L.→膝位」・「膝位→外果位」の長径5項目、腰囲・大腿囲・膝囲の周径3項目、および腰部横径・腰部矢状径の合計10項目である。まず10項目相互間の相関を求め、中程度以上の相関のみられる項目のうち、下半身用衣服として重要と思われる下衣丈・腰囲をとりあげ、この2項目をそれぞれ100とした場合の他の項目の割合を求めた。

結果 重要な結果は次のようである。

- 1 下衣丈に対する他の長径項目の割合については、股上・「W.L.→膝位」は女子の方が、股下・「膝位→外果位」は男子の方が、いずれも有意に優れる。しかし、股下を100とした場合の「膝位→外果位」の割合には性差はみられない。
- 2 腰囲に対する周径・幅径項目の割合については、大腿囲・腰部矢状径は女子の方が、膝囲・腰部横径は男子の方が、いずれも有意に優れる。また、大腿囲を100とした場合の膝囲の割合は男子が有意に優れる。